



2012 年国際協同組合年の年頭によせて

埼玉県生協ネットワーク協議会

会長 滝澤 玲子

昨年は、埼玉県生活協同組合連合会、会員生協の皆様、消費者団体の皆様にご協力とご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

2011年3月11日、決して忘れることのできない東日本大震災が起きました。犠牲になられた方々に哀悼の意を捧げますとともに被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。この大震災は私たちの暮らしや、地域のあり方を考え直す契機ともなりました。市場経済主義、競争社会から、持続可能な社会を希求し、相互扶助、支え合い、分かち合いの共生社会をめざすことを話し合い、組合員は、個人として、また所属している生協で、命について、豊かさについて考え、地域の絆を様々な形で強め、よりよい社会になるよう要望していくこと、協働していくこと、地域での役割の発揮をあらためて問われています。

生協ネットワーク協議会は、6月全体会で、世界の情勢を知り、震災復興への生協、消費者への期待や役割についての学習からスタートしました。第4回協議会では、会員生協の地域福祉、医療生協さいたまの安心ルーム、高齢協の緊急対応ノートなど、事業と組合員の活動を交流し、地域において今日から私のできることを出し合いました。2月には、17回目を迎えるJA埼玉県女性協議会との新春交流会や、委員の企画による公開学習会を計画しています。食の安心、安全や暮らしのさまざまな問題については学習をするとともに、国や県行政の審議会、協議会等に消費者として参画し、社会システムの強化や制度への要望を継続して出しています。

－現実にはひるまずに立ち向かう勇気があなたにはありますか－マザーテレサ、あふれる愛のなかにある言葉です。希望や思いを同じくした人と人との結びつきは大きな力となり、立ち向かう勇気になります。これからも復旧、復興へも微力ではありますが、それぞれのできることをしていきます。

2012年は、－協同組合がよりよい社会を築きます－をスローガンに国際協同組合年であり、生協連は40周年を迎えます。ネットワーク協議会は名称の変更、改組をへて37年の活動をしてきました。その当初の願いも平和で安心して暮らせる社会、地域の連携でした。その願いは今も続いております。県内連携をより深める一年として本年もご協力とご支援をお願い申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。